

より子育てしやすい まちを目指して

全国的な少子化や、共働き世帯の増加、就労形態の多様化によって、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。このような中で、市の保育環境の現在の状況や、さらなる保育需要に対応するための取り組みについてお知らせします。

問 幼稚園保育園課 (i プラザ 3 階) ☎ 0538-37-4858 FAX 0538-37-4631



少子化の中でも増加する 0～2 歳児の保育需要



磐田市でも全国的な流れと同様に少子化が進行しています。市の就学前の人口（0～5歳）を見ると10年間で約1,400人減少しています。

一方で女性の社会進出に伴う共働き世帯の増加や核家族化などを背景に、保育需要が急増してきました。市では、保育園の受け入れ枠を拡大するため、施設整備などを進め、平成17年4月から平成30年4月までの13年間に、約1,200人分の受け入れ枠を増加しました。

しかし、このような状況でも、保育園などに入所申し込みをしたにもかかわらず、利用できない子どもが生じています。なぜでしょうか。

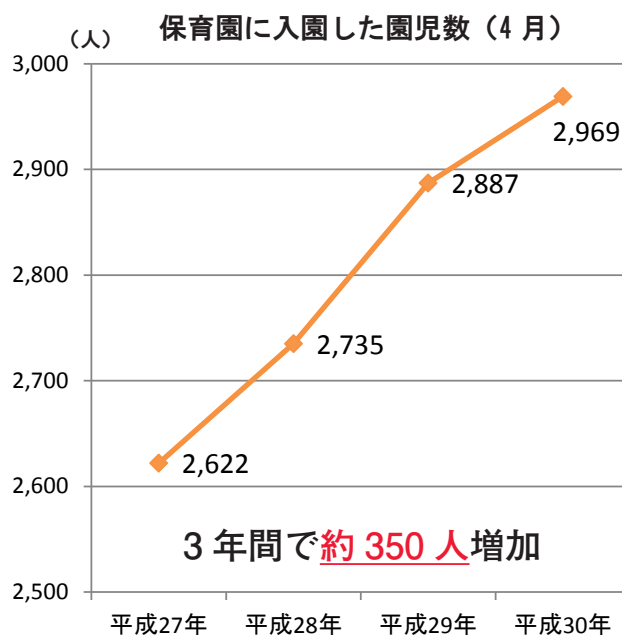
平成27年から平成30年の4月時点の保育園などに入園した園児数の推移を見ると、3年間で約350人増加していることがわかります（右図）。また下記のとおり、0～2歳児のうち保育園などに入園した子どもの割合（就園率）が10年間で約12%増加しています。

0～2歳児の就園率

平成20年4月 平成30年4月
18.1% → **30.5%**
約12%増加

就学前の人口（0～5歳）

平成20年4月 平成30年4月
9,805人 → **8,427人**
約1,400人減



このように、特に0～2歳児の保育需要が増加していることが、保育園などを利用できない子どもが生じている要因の一つとなっています。



受け入れ枠拡大に向けた、市のこれからの取り組み

市では0～2歳児をはじめ、今後さらに増加する保育需要を見据えて保育園受け入れ枠をさらに拡大していきます。平成29年度から平成33年度までの5年間に約350人(うち0～2歳児で約210人)の受け入れ枠を新たに確保し、安心して子どもを生み育てられる環境をつくっていきます。

保育園受け入れ枠の拡大に向けた取り組み

①新規こども園の建設

- ・(仮称) 中泉こども園の建設



▲(仮)中泉こども園の完成イメージ

②民間活力を利用した認定こども園化と施設整備など

- ・東部幼稚園の認定こども園化と施設整備 (民営)
- ・岩田こども園の施設整備 (民営)
- ・竜洋西保育園・竜洋北保育園の統合と施設整備 (民営)
- ・豊田南第3保育園の民営化



▲元気に遊ぶ子どもたち(福田こども園)

③既存の保育園の定員枠拡大

- ・広瀬保育園の定員枠拡大に伴う施設整備



▲小規模保育所の様子

④地域型保育事業および企業主導型保育事業の開設支援

- ・0～2歳児を対象とした小規模保育所の開設支援
- ・企業が設置・運営する保育施設の開設支援 など

あたたかな愛情の中で、成長できる環境づくりを

子どもにとって親と一緒に過ごす時間はかけがえのないもので、親御さんもその時間を大切にされていることと思います。そのような中で、就労などさまざまな理由により子どもを保育園へ入園させたいと思う方がいらっしゃる限り、市は全ての子どもたちを受け入れられるよう、引き続き保育枠の拡大を進めていきます。

また、官民一体となつての保育の質の向上や、保育士の確保にも取り組んでいくことが、併せて重要であると考えます。

市は、保育園などに入園していても、自宅で家族に保育されている子どもたちも、磐田の全ての子どもたちが、あたたかな愛情の中で健やかに成長できることを目指し、その環境づくりを進めてまいります。